

令和7年度 第3回まちづくりミーティング

日時：令和7年8月1日（金）13：30～14：30

場所：福知山市役所3階 301会議室

団体：京都生活協同組合 両丹ブロック

○主な話し合いの内容

市長： 最高気温が全国一を記録したほか40度を超える日があったなど、市内で非常に暑い日が続いている。熱中症などの健康被害だけでなく、農業などでの苦勞も多く聞いているところである。

本市は今年の4月にベビーファースト宣言をおこなったところであり、地域全体で子どもを産み、育てたくなるまちをつくっていきたいと考えている。昨年度のこのまちづくりミーティングで紹介をいただいた啓発物については、4か月健診の会場に設置をさせていただいている。およそ半数程度の方がお持ち帰りいただいているようである。今年度も多くのお話をさせていただきたいと考えている。

【意見交換】

団体： 先程、ベビーファースト宣言の話があったが、京都生協としてもお母さん方の助けになるような商品やサービスを提供しているところであり、連携できる部分もあるかと思っていた。今年もよろしくお願いする。

団体：～京都生活協同組合両丹ブロックの昨年度活動状況及び今年度重点課題、併せて通常総代会議案書の説明～

団体： 行政の資料を見させていただくと福知山の出生率が高いように感じている

市長 福知山市の最新の出生率は1.84で、全国平均などと比較すると高い数字が出ている。原因は、様々な要素があると思うが病院や教育機関、買い物をする施設などがコンパクトにまとまっていて生活をしやすいということが1つ挙げられる。

ただ、出生数は本市でも減少しており、特に人口に自然増減についてはマイナスが続いている状況である。日本全体で出生数が減少し、高齢化も進むことは予測されている中でどういう方向性で取り組みを進めていくべきか、を考えていく必要がある。

そのような中、福知山市では「2040年市民会議」を立ち上げたところである。本市の高齢者人口が最大になる2040年をターゲットとして、市の未来予測を作成して、市民の皆様が対面でもオンラインでも意見交換できる場を作っている。

団体： 先を見据えて、順序たててそこに向かう取り組みであり。進んでいるように感じ

る。

市長： まだまだ、特に DX の取組みなどについて、進んでいないように感じていることも多くある。そうした中で DX については、見本市のような「デジタルパーク」の開催を予定している。これは行政 DX ではなく、民間の方々が利用される DX をターゲットとして開催することとしている。

団体： デジタルパークは。どのような方を対象としているか。

市長： 1 次産業も含めた事業者の方を中心に、市民の方々に参加をしていただきたいと考えている。講演会の開催や交流会の実施も予定しているので、事業者様同士の交流をしていただき、人口減少社会の中で DX は避けて通れないのでぜひ活用していただきたい。そのほかの部分も考えていく必要ももちろんある。

団体： 昨年に続き、今年6月に福知山市植物園で「タネダンゴづくり」のイベントも開催をさせていただいた。平日の開催だったため、大人の方の参加が多かったが参加者の皆さん非常に楽しんでいただいた。

また、公立大で共済の紹介をさせていただく中で1人暮らしの方が多いように感じている。1人暮らしを助ける京都生協の取組みも進めていきたいと思う。

団体： 住みやすいまちづくりを進めていく中で、病院の利用についても非常に進んでいるように感じている。特に地域の医院と市民病院の連携が非常に便利である。

市長： 市民病院は急性期の患者様を主に治療し、その後個人医院で回復をめざすなど連携を大切にしている。

団体： 市役所で実施されている「重層的支援」で非常に助かっている部分がある。

市長： 当初は小さい範囲から始めたが、「どこにいてもフォローができるように」と進めてきた。関係課を越えた相談も課で割り切って考えるのではなく、様々な分野を含めて相談を受けられるようにしてきた。

団体： 今後も様々な場面で協力依頼することもあると思うが、よろしく願いたい。

